

発行所 東京都新宿区左門町11番地6の101
〒160-0017
社団法人 大学婦人協会
電話 03-3358-2882
FAX 03-3358-2889
http://www.jauw.org
E-mail:jauw@jauw.org
発行人 今井 けい
編集責任者 松本 佳子

J A U W

おもな記事

- 1面 会長挨拶、第49回通常総会案内、中東訪問団報告会
- 2面～3面 国内奨学生選考経過と提出論文要旨
- 4面 第5回自然科学講演会、NGO女性大会、支部だより、お知らせほか

第49回通常総会ご案内

春寒の候、皆さまにはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、第49回通常総会が、この度秋田市で開催されることになりました。日程等は下記のとおりです。どうぞお誘い合わせの上、多数ご出席くださいますようご案内申し上げます。

1. 総会関係 (於：秋田キャッスルホテル)

月 日	会 合	時 間	会 場	費 用
4月8日 (土)	臨時理事会 評議員会 支部長懇談会	13:00～13:30 13:30～15:30 15:30～17:00	秋田キャッスルホテル 4F 「千秋の間」	
	懇親会	18:00～20:30		
4月9日 (日)	総会	9:00～16:00	秋田キャッスルホテル 4F 「矢留の間」	総会費3,000円 昼食代3,000円

*懇親会には、秋田和洋女子高校の生徒による、秋田民謡の歌と踊りの出演を予定しています。

2. 宿泊 秋田キャッスルホテル

〒010-0001 秋田市中通1-3-5
TEL: 018-834-1141 FAX: 018-831-0518
チェックインタイム: 13:00 チェックアウトタイム: 11:00

交通 (詳細は申込書などと配布)

- ① JR秋田駅ご利用の場合: JR秋田駅西口下車 徒歩約10分 (資料参照)
タクシー約3分 (料金約650円)
- ② 秋田空港ご利用の場合: リムジンバス約40分 木内前下車 徒歩約1分 (料金980円)
タクシー約30分 (料金約7,000円)
- ③ お車の場合: 秋田自動車道・秋田南インターチェンジ 20分
料金 ツイン 9,000円 シングルユース 10,000円
*いずれも一泊・朝食・サービス料込みです。
*ツインご希望の方は、同室ご希望名を申込用紙にお書きください。

3. 見学会 (バスツアー)

- 4月10日(月)
- ① 「角館・田沢湖コース」 参加費: 10,000円
ホテル～角館(桜皮細工伝承館・青柳家・武家屋敷通り)～田沢湖芸術村ゆぼぼ(昼食)～9:00 出発
田沢湖(伝説たつこ姫像・御座の石神社・田沢湖畔)～田沢湖駅～秋田空港～秋田駅東口
15:00 16:00 16:30
 - ② 「秋田市内コース」 参加費: 6,000円
ホテル～清水酒造～赤レンガ館～ねぶり流し館(竿燈の実演見学)～9:00 出発
昼食～秋田駅西口～秋田空港
14:00 15:00
- *両コースとも、定員40名です。先着順にお受けします。コースによって参加費が異なりますが、お振込みの時はご希望のコースの参加費でお振込みください。
*どのコースも、希望者が15名未満の場合は中止になります。

4. 申込み方法

- (1) 総会ご出席の皆様方の手続きは、(株)日本旅行秋田支店に委託しております。申込書に必要事項をご記入の上、〔支部提出用〕・〔日本旅行提出用〕ともに各支部長へご提出ください。
〔支部提出用〕は各支部で支部会員の出席確認にお使い下さい。
〔日本旅行提出用〕は、支部でまとめて2月28日(火)までに下記へお送りください。

FAXまたは郵送での申込
〒010-0921 秋田市大町2-2-12 秋田ワシントンホテル1階
(株)日本旅行 秋田支店
「第49回大学婦人協会総会」係
TEL: 018-866-0111 FAX: 018-866-0100 (担当) 柏谷

- (2) 「予約確認書」「請求書」を3月10日(金)までに郵送いたします。「請求書」が届きましたら、費用は3月24日(金)までに、個人別下記口座にお振込みください。

振込先 振込銀行: みずほコーポレート銀行 十五号支店
口座番号: 普通口座 3102581
口座名義: (株)日本旅行

- (3) 総会、懇親会、宿泊のキャンセル受付は3月24日(金)までとします。ただし、総会費3,000円はキャンセルの日時に関係なく返却できませんので、ご了承ください。ご不明の点がございましたら、下記へお問い合わせください。

〒010-0921 秋田市大町2-2-12 秋田ワシントンホテル1階
(株)日本旅行 秋田支店 柏谷 嘉博
TEL: 018-866-0111 FAX: 018-866-0100
E-mail: akita-net@nta.co.jp
〒010-0862 秋田市手形田中7-56
第49回通常総会準備委員長 菅原 展子
TEL & FAX: 018-835-2708
E-mail: nob-suga@mbp.nifty.com

奨学金資金設立と先駆的な活動にふさわしい名称を

会長 今井 けい

天災・人災・戦争と悲惨な出来事が続いた2005年も過ぎ去り、また若い有能な女性たちに奨学金を贈呈できる新年を迎えました。奨学金を授与された人たちの喜ばしい顔を見ると、またこれから1年間JAUWのために働く勇気が得られます。国内奨学金(社会福祉奨学金を含む)、国際奨学金、科学研究奨励金などをめると、JAUWの奨学金事業は毎年500万円におよび、他の女性団体には見られない多額に上ります。こうした大きな事業が継続できるのは会員の皆様の不断の努力の賜です。とくにこの度、皆様のご協力のおかげで「国内奨学金資金設立の募金」も目標額の1000万円に近づきつつあります。仙台支部では募金のためのコンサートを開いて下さり、さまざまな形で協力が実を結ぼうとしています。

この2年間、国内奨学金委員会および社会福祉委員会では受贈者たちの追跡調査を行い、JAUW奨学生OGネットワークの形成に努力して下さいました。社会福祉委員会刊行による「未来に向かって翔ぶ」もその一つの成果です。



国内奨学金贈呈式 1月7日(土)、京王プラザホテルで。写真=今井会長から奨学金を贈呈される社会福祉奨学生の大嶋かず路さん

ご存じの通り、今年度は全国セミナーの代わりに「日本・中東女性交流」事業(国連NGO国内婦人委員会主催)に力を入れています。この2年間、国内奨学金委員会および社会福祉委員会では受贈者たちの追跡調査を行い、JAUW奨学生OGネットワークの形成に努力して下さいました。社会福祉委員会刊行による「未来に向かって翔ぶ」もその一つの成果です。

中東訪問団報告会

2005.12.24(土)
津田塾同窓会館にて

クリスマス・イブの午後、中東訪問団(青木裕子団長、田中正子副団長、穂田信子副団長)による、会員の花が美しい会場には51人が参集。第1部の報告会では、青木団長の見事な進行で、ヨルダン・エジプトでの表敬訪問、施設見学、プレゼンテーションなどの様子について、パネリストや多くの写真を使って詳細に報告された。第2部は柳原副団長の明快な司会で、お茶とケーキをいただきながらの質疑応答。元会長方から交流の歴史が語られ、青木団長は、今や逆らえぬ時代の流れに乗っていることを実感すると話された。

社団法人 大学婦人協会 2006・2007年度 役員理事及び監事候補者(敬称略)	
会長	田中正子(茶)
副会長	阿部幸子(茶)
副会長	見八重子(津・院)
書記	岩田玲子(武蔵音)
書記	牧島悠美(茶)
書記	月島薫(茶)
監事	長谷川千恵子(津)
監事	五十嵐康子(津)
監事	田中トモ子(奈女)
役員選考委員会	新任



この日は遠路岡山から、雪をついて支部長ら3人も参加。経験豊かな青木団長を中心に、冷静な田中さん、若い真摯なまなごしの穂田さんの絶妙なコンビによる報告会は、実に緻密で格調高く分かり易く、参加者は、充実した時間を過ごすことができました。3人の方々のご尽力に心から感謝いたします。(広報委員会)

報告する青木団長(中央)と田中さん(左)、穂田さん(右)

2005年度 J A U W国内奨学生

I 一般奨学生 大学院生 6名

氏名	大学院	研究科・専攻	課程・学年	推薦	出身大学
伊佐由貴	一橋大学大学院	社会学研究科総合社会科学	修士2回生	同大学院	琉球大学大学院
上野幸代	岐阜大学大学院	工学研究科生産開発システム工学	博士後期 1年	岐阜支部	名古屋工業大学
小島陽子	日本大学大学院	理工学研究科建築学	博士後期 3回	同大学院	日本大学
小林亜起子	東京藝術大学大学院	美術学研究科西洋美術史	博士1回生	同大学院	大阪大学
丹羽美苗	名古屋大学大学院	医学研究科細胞情報医学	博士 2年	愛知支部	千葉大学
横田香穂梨	津田塾大学大学院	国際関係学研究科国際関係学	博士後期 3回	同大学院	法政大学

II 安井医学奨学生 1名

氏名	大学院	研究科・専攻	課程・学年	推薦	出身大学
山口さち子	東京大学大学院	医学系研究科生体物理医学	博士2回生	同大学院	筑波大学

III 社会福祉奨学生 大学院生 1名 学部生 1名

氏名	大学・大学院	研究科・専攻/学部・学科	課程・学年	推薦	出身学校
大嶋かず路	東京藝術大学大学院	音楽研究科音楽学	博士1年	同大学院	大阪府立大学
吉田かおる	東京大学	薬学部薬学科	学部3年	同大学	神奈川県立高等学校

選考と結果

二〇〇五年度国内奨学金贈呈式
 2006年1月7日(土)、「国内奨学金贈呈式」が、今年も京王プラザホテル扇の間で行われた。今年の奨学生は前年と同じ9人(大学院生8人、学部生1人)。贈呈式には7人が出席し、若い喜びのスピーチが、新春のついで華やいだ会場に流れた。

第58回 一般奨学生 第15回 安井医学奨学生

国内奨学委員長 鷲見八重子

本年度の国内奨学生は、昨年度と同様、一般奨学生6名、安井医学奨学生1名、社会福祉奨学生3名以下を募集することとし、東京都、千葉県、埼玉県、東京都と琉球大学へは直接学長宛に、その他の地域については28支部の各支部長宛に募集要項を送付し、奨学生候補の推薦をお願いした。

その結果、一般奨学生53名、安井医学奨学生4名、合わせて昨年を4名上回る57名の応募があり、10月29日(土)、今井けい会長の出席のもとに選考委員会が開かれました。

選考委員会に先立ち19名の各委員は応募者の書類を検討し、各自の評価表を作成して委員会に臨み、研究内容を中心に専攻や地域も考慮して慎重に審議を行った結果、一般奨学生6名、安井医学奨学生1名の候補者を選び、さらに一般奨学生の中からホームズ奨学生候補者1名を選考しました。

部長に結果の報告をいたしました。今年度の特徴としては、文学関係が激減し英文学は皆無だった反面、社会科学系と理系が充実してきました。ほぼ8倍の競争率となる多数の応募者から奨学生を選考することは非常にむずかしく、今回残念ながら選にもれた中にも優れた研究が多数見られます。それだけに、今年度も本奨学生にふさわしい優秀な方々が選ばれたと思っております。

伊佐由貴さんは、ハワイの日系人移民・日系人にとつての「国家」意識について、二つの大戦という非常時における日本とアメリカ合衆国の徴兵制、帰化権をめぐる歴史的文脈の中から検証しようとしています。

上野幸代さんは、産業界の地震被害を指し、連帯化する企業間の地震被害連鎖波及メカニズムを解明するためその構造をモデル化し、さまざまな条件下でのシミュレーションを行い、実効性のある防災対策を検討しています。

小島陽子さんは、アンコール・ワットの均衡美に魅せられ、伽藍全体と個々の建築のプロポーションを決定する手法がどのように生み出されたのか、カンボジア人の思考や精神から解明しようとしています。

小林亜起子さんは、フランスの口ココを代表する画家フランソワ・ブ

第34回 社会福祉奨学生

社会福祉委員長 林千代

今年度の募集には、大学院生4名、学部生5名の応募がありました。

10月14日に開かれた選考委員会には、柳原副会長が出席。委員全員が、応募者一覧表に順位とコメントを付して提出し、調整する方法ですが、学業、人物ともに優れていること、テーマの目的、内容の説得力、障害状況、学年などを加味して、慎重に審議しました。

その結果、2名の候補者を選出。11月5日の理事会の承認を経て決定となったわけですが、大嶋かず路さんは、ショパンの音楽とワルシャワ11月蜂起の関係を追究しています。担当教授は「将来を嘱望される者の一人」と評され

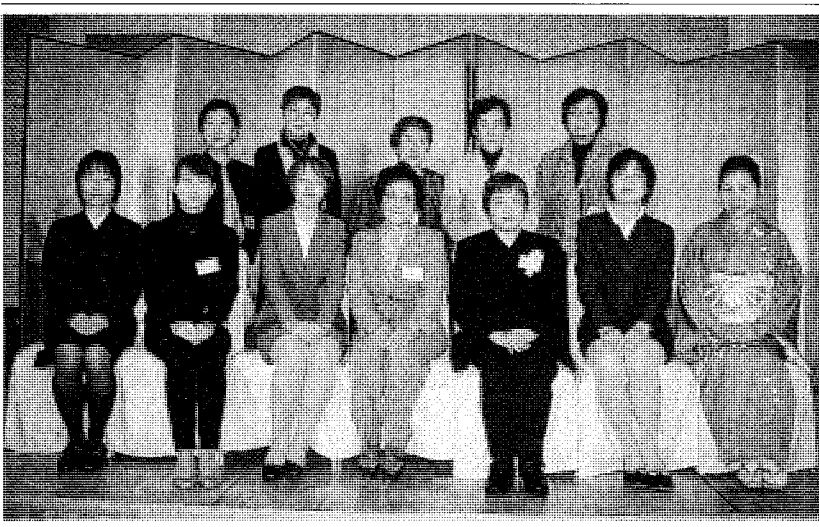
提出論文概要と将来の希望

【一般奨学生】 移民と国家：個人が描く 国家とは何か

一橋大学大学院
伊佐 由貴

修士論文では「日本人移民・日系人にとつての『国家』：徴兵と帰化権を中心にして」として、日本人移民と国家との関係を歴史的な文脈の中から描き出す。

私の研究テーマは、産業界の地震被害である。昨今、供給者から消費者までを結ぶ一連のモノや流れをトータルに最適化するための経営手法であるサプライチェーン・マネジメントが進められている。このような体制の中で、企業間の日常的な業務効率向上の一方、一部の企業が機能停止に陥ると、その影響が連鎖的に波及する恐れがある。震災時に被害を



奨学生と記念撮影 今井会長(前列中央)と関係理事(後列)



奨学生を囲んで(左)

今後は、その結果から、対策代替案による被害の軽減効果や対策コストを比較・評価し、もっとも実効性があり業務継続計画策定に組み入れるべき防災対策を検討する。事前対策を行うことで、地震災害における個々の企業の被害を軽減し、ひいては産業界全体を守ることを目指す。

企業における震害連鎖構造究明のための分析法に関する研究

岐阜大学大学院
上野 幸代

私の研究テーマは、産業界の地震被害である。昨今、供給者から消費者までを結ぶ一連のモノや流れをトータルに最適化するための経営手法であるサプライチェーン・マネジメントが進められている。このような体制の中で、企業間の日常的な業務効率向上の一方、一部の企業が機能停止に陥ると、その影響が連鎖的に波及する恐れがある。震災時に被害を

クメール建築の伽藍構成と設計手法に関する研究

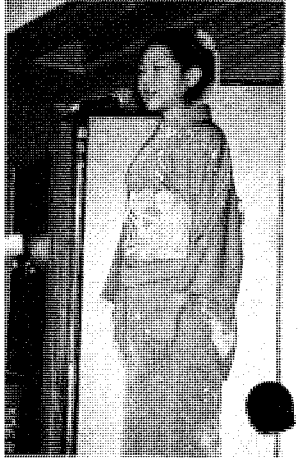
日本大学大学院
小島 陽子

アンコール・ワットの均衡の取れた美しさに圧倒され、そこに至るまでの技術者の試行錯誤の過程を明らかにしたいと、文科省のアジア諸国等派遣留学生としてカンボジア王立芸術大学に留学した。カンボジア人の考えや精神を学び、彼らの視点から建築の理解に努めている。これまで多くの研究者が伽藍を幾何学的に分割し、インドの建築書等にあてはめ設計技法の考察を行ってきたが、未だ定説はない。それに対し本研究は設計の手法に焦点をあてる。一般に造形美は部分から全体に統一された美の追求へと発展する。全体計画の下に伽藍全体と個々の建築のプロポーションを決定する手法がどのように生み出されたのか。施工時、現在のような正確な道具はなく、多数の工人に的

ロココ時代の画家フランソワ・ブーシエの素描と版画研究

東京芸術大学大学院
小林 亜起子

私は18世紀フランスのロココを代表する画家、フランソワ・ブーシエの素描と版画を研究課題としております。具体的には以下の2点について検討したいと考えています。第一に素描について、制作の目的に応じた分類を行い、それぞれの特質を歴史的に捉えたいと思います。ブーシエの素描はそれ自体芸術作品であるもの、あるいは



きもの姿でスピーチをする奨学生

確な指示が必要であったことから、施工に即した基準が用いられた可能性を想定する。個々の建築において、初期に施工された個所の寸法と個々の建築間の距離など、伽藍の部分と全体の寸法構成の関連を比較検討し、修士論文では10世紀の2遺跡が、伽藍の全体と部分の関連を比較検討し、修士論文では、それ以降の建築、周辺地域の建築について比較検討し、新手法がどのようにもたらされたのか考察したい。その後、民家や仏教寺院なども含め、文化や生活のわかるトータルなイメージとしてカンボジアを中心とした東南アジアの建築文化を紹介していきたい。

薬物依存治療薬の開発と覚せい剤依存形成に関与する新規遺伝子の生理機能の解明

名古屋大学大学院
丹 羽 美 苗

覚せい剤や麻薬による薬物依存は大きな社会問題であるが、薬物依存の形成機序は未だ明らかにされておらず、薬物依存の患者に対する治療法はほとんど確立されていない。申請者は、薬物依存抑制作用が報告されているGDNF (Messer et al. Neuron, 26, 247-257 (2000)) と TNF- α (Nakai et al. J. Neurosci., 24, 2212-2225 (2004)) の産生を脳内において増加させる疎水性ペプチド Leu- α の薬物依存治療薬としての可能性を検討している (Nawa et al. unpublished data)。さらに、上記タンパク以外に薬物依存形成の key となるタンパクを同定するために、cDNA サブストラクショナル法を用い、新規遺伝子のクローニングを行うつもりである。

ブラジルのストリートチルドレン支援に関する国際福祉論的研究

津田塾大学大学院
横田 香穂 梨 (ホームズ奨学生)

ブラジルのストリートチルドレン問題は、1980年代以来、国連児童基金等による国際的な関与を導いた上で本格的に始まった支援活動の展開でも注目されてきた。ブラジルに歴史的に根付いた草の根の支援アプローチを生かし、国連子どもの権利条約にいち早く運動した国内の法制度整備を進める。

パルス磁気刺激の生体効果に関する研究

東京大学大学院
山口 さち子

この度は安井医学奨学生として採用して頂き、Non-treated group) を確認していただきます。また、脾臓中 Tumor Necrosis Factor (TNF- α) の量を指標にすることで、パルス磁気刺激処置による免疫機能調節機構の変動と、影響を与える刺激パラメータの解析を行っています。

有機化学への関心から薬の研究へ

東京大学
吉田 かおる

「自分の専攻分野と将来の希望について」私は有機化学と生化学を学びたかったため、2年次の進学振り分けの際、それらを学ぶことができ、かつ最も内容が実践的である薬学部に進学した。現在は専攻は決まっていなく、月曜から金曜まで毎日、学部の3年生全員が同じように、午前中は講義を受け、午後には実習を通じて基礎的な研究方法を学んでいる。講義の内容は有機化学、生化学、分子生物学、薬理学、病理学、薬物動態学、構造生物学等、非常に多くの分野に及ぶ。また、薬剤師の資格は必ず取得し、研究の傍らにアルバイトをして学費の足しにしたいと考えている。



贈呈式後、バイオリンとピアノのデュオコンサートが会場を魅了した。バイオリン=瀬川晴子さん、ピアノ=佐藤千佳さん

【社会福祉奨学生】
文学、音楽作品における1830年ワルシャワ11月蜂起及びポーランド人亡命者の影響について
東京芸術大学大学院
大嶋 かず路

1830年11月蜂起と続く対露独立戦争とその敗北後、多くのポーランド人が亡命者となって西側へ逃亡した。「国家滅亡」というポーランドの悲劇は、革命や自由、民族をテーマとする音楽作品創作的契機ともなっている。とりわけ、民謡を多く取り入れたシヨパンの独自の作風は同時代の

他国の作曲家にも多大な影響を与えた。本研究の課題は、ポーランドの対露独立戦争とその敗北の影響がシヨパンらの作品にいかなる形で現れているかを考察し、ポーランド人亡命者との密接なつながりにより「民族」が盛んとなり、そこから「国民楽派」音楽の発展への道が開けたといえることが明らかになるであろう。さらに、従来音楽史上あまり語られることのなかった11月蜂起が、「19世紀音楽史の流れを決定付けた重要な出来事」として新たに評価され、今後の同時代の作曲家の作品研究に貢献することとなるだろう。

2005年NGO日本女性大会 —国際婦人年連絡会結成30周年—

国内NGO委員長 松比良節子

昨年11月26日、千代田区公会堂において、5年一度の女性大会が国際婦人年連絡会主催で行われた。北は青森・宮城・栃木から、また長野市・上田市から各地の男女共同参画センター等の方々、東京・千葉の大学院生ほか学生の参加も数名見られ、参加者総数は約750名であった。



(右) 大会で司会をする令井会長

は、今井けい会長が午前の司会を担当され、見事に来賓のスピーチ・基調講演などの進行をさばりていかれ、来賓の猪口邦子少子化・男女共同参画担当大臣は、国際婦人年連絡会の1975年から運動の継続について祝辞を述べられた。また、



(下) 大会のフィナーレ、各団体がプラカードを手に、ステージからアピール

田信子JAUW国際委員長が通訳を務め、房野桂長(神奈川支部会長)は国際活動の5年間の報告をされ、多くのメンバーがこの大会に奉仕した。江尻世話人の国内基調報告では、近年の女性運動はその努力にもかかわらず、10年、15年前のようには沸き立つような盛り上がりが見られなかった。

午後のパネルディスカッションは「男女共同参画社会を創る」と題して、福祉分野では樋口恵子氏、労働では早稲田大学の大森真紀氏、経済・エンターテインメント分野では村松安子東京女子大学名誉教授がパネリストとして活躍され、大いに盛り上がった。会場からも多くの質問や、自団体の活動のアピールがあった。

この日のJAUW関係の参加者は34名、国内NGO委員は受付を担当した。2010年には、さらなる前進の大会がもたれるよう切に願っている。

大会の詳細は「女性展望」(2006年1月号)をご覧ください。

「京都も頑張っています」

京都支部長 松田栄子

本年度は支部長が交代し、新役員が発足した。今年度はバングラデシ活動は、講演(アインシュタインと現代宇宙論)ほか、読書会(柳澤桂子著「認められぬ身」)など、世界の問題がより身近に感じられた年であり、神戸大学で宇宙物理学の博士号を取ったジャハナラ・ベグムさんからのカレの講話を受け、バングラデシ女性の話を聞く。毎年サイクロンと洪水の被害に苦しむが、女性の地位は確実に向上しているという。



「ベグムさんを囲んで」 2005.9.17

JAUW国際奨学生マグダレーナ・ムテンガさんがタンザニアから12月に来日。京都大学で「繊維産業廃水の浄化」について研究している。都市の上水道も汚染されているので飲めないとのこと。神谷治美・島田洋子両会員が「女性の自立とエンパワメント」(ミネソラヴァ書房)を出版。あ

2月の「日本・中東女性交流シンポジウム」に向けて、京都大学小杉泰教授の「中東女性の教育とイスラーム文化」と題する講演を聞いた。また中東女性の勉強会を、英語の資料を使い1月12日、2日、3日、4日、5日、6日、7日、8日、9日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、18日、19日、20日、21日、22日、23日、24日、25日、26日、27日、28日、29日、30日、31日、1月1日、2日、3日、4日、5日、6日、7日、8日、9日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、18日、19日、20日、21日、22日、23日、24日、25日、26日、27日、28日、29日、30日、31日、2月1日、2日、3日、4日、5日、6日、7日、8日、9日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、18日、19日、20日、21日、22日、23日、24日、25日、26日、27日、28日、29日、30日、31日、3月1日、2日、3日、4日、5日、6日、7日、8日、9日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、18日、19日、20日、21日、22日、23日、24日、25日、26日、27日、28日、29日、30日、31日、4月1日、2日、3日、4日、5日、6日、7日、8日、9日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、18日、19日、20日、21日、22日、23日、24日、25日、26日、27日、28日、29日、30日、31日、5月1日、2日、3日、4日、5日、6日、7日、8日、9日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、18日、19日、20日、21日、22日、23日、24日、25日、26日、27日、28日、29日、30日、31日、6月1日、2日、3日、4日、5日、6日、7日、8日、9日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、18日、19日、20日、21日、22日、23日、24日、25日、26日、27日、28日、29日、30日、31日、7月1日、2日、3日、4日、5日、6日、7日、8日、9日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、18日、19日、20日、21日、22日、23日、24日、25日、26日、27日、28日、29日、30日、31日、8月1日、2日、3日、4日、5日、6日、7日、8日、9日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、18日、19日、20日、21日、22日、23日、24日、25日、26日、27日、28日、29日、30日、31日、9月1日、2日、3日、4日、5日、6日、7日、8日、9日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、18日、19日、20日、21日、22日、23日、24日、25日、26日、27日、28日、29日、30日、31日、10月1日、2日、3日、4日、5日、6日、7日、8日、9日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、18日、19日、20日、21日、22日、23日、24日、25日、26日、27日、28日、29日、30日、31日、11月1日、2日、3日、4日、5日、6日、7日、8日、9日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、18日、19日、20日、21日、22日、23日、24日、25日、26日、27日、28日、29日、30日、31日、12月1日、2日、3日、4日、5日、6日、7日、8日、9日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、18日、19日、20日、21日、22日、23日、24日、25日、26日、27日、28日、29日、30日、31日

2006年度「若手会育成金」による研究グループを募集

45歳以下の会員が主催するグループに、年間20万円まで助成金を支給します。2年継続も可。申込み締め切り 2006年2月末日。

第5回自然科学講演会報告

創薬基礎科学にむけた有機化学

「くすり」はどのように創られるのか

2005.12.10(土) お茶の水女子大学にて

科学研究奨励委員会主催の自然科学講演会が、東京支部、お茶の水女子大学との共催で、中川昌子科学研究奨励委員を講師として開催されました。佐々木東京支部長の挨拶、平川科学研究奨励委員長の司会で、講演会が始まりました。中川委員は、科学技術庁放射線医学総合研究所、千葉大



中川委員

後それらの構造が決定され、有機化学合成によって現在の医薬品として創製されました。薬の開発は自然科学

の境界領域の研究が進み、遺伝子工学やバイオ技術により、インシュリンの多量合成やインターフェロンの生産も可能になりました。20世紀にDNAやタンパク質の合成が確立し、21世紀に入り人間の全遺伝子配列が決定され、遺伝子配列が決定されて、遺伝病等へのゲノム創薬の時代となりました。新薬開発のためには、研究が行われています。リード化合物が新薬として厚生省に認可されるまでには、幾段階もの非臨床試験、臨床試験等のため10年、20年の歳月と100億円を超える膨大な費用が必要とされています。

「くすり」はどのように創られるのか

自然科学講演会

村岡全子

第22回サロンJへの誘い

「山下泰子さんを囲む会」

「JAUW若手会育成金」で第3回世界女性会議に出席

「新春のつどい」

「新春のつどい」

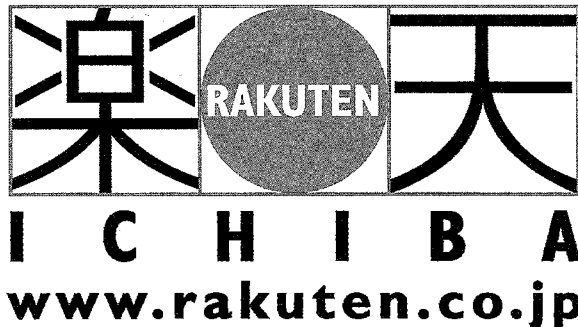
「新春のつどい」

「国内奨学金資金設立のための募金」も目標額まであと一歩です。皆様のご協力をお願いいたします。

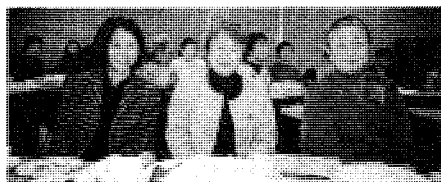
「日本・中東女性交流」の招へい事業が始まります。東京(2月13日)と岡山(2月16日)でシンポジウムが開かれます。

JAUW奨学生OGネットワークづくりの一環として、社会福祉奨学生の手記をまとめた冊子『未来に向かって翔ぶ』が刊行しました。詳細お問い合わせは委員会まで。(社会福祉委員会)

JAUWのホームページで、本部委員会や各支部の活動をご覧ください。www.jauw.org



www.rakuten.co.jp



年末の「中東訪問報告会」に出席した岡山支部の岡崎支部長(左)、早津実行委員長、真邊会員(右)